夕刊
磐城新聞
八月十一日發行
定價 一ヶ月金六拾五錢（税共）
（日曜祭日翌日休刊）

紙上の啖呵と漫談 一

大井黒美智子

◇

私の生家は山間の僻地、本郡澤渡村であるが、貧農兩立は許されない。最初かに近い境遇で育てられた關係から、高女を卒へて女子醫專に行かうとした希望も金力に乏しい爲達し得られなかつた。

資本主義國家の教育機關は『卒業證書を賣る營利社會である』と私の夫は云ふが、私もこの皮肉は非常に適切であると思ふ。けれども今日では卒業證と云ふ一種の手形は資本家的生産のる營利社會社である』といふ矛盾と行詰りから單なる空手形と化し去つた生きた事實として赤門は勿論、私大の學校以上に適切妥當だと出身のインテリゲンツィアの中で就職し得るものが全體に對する僅か二五%であることを以て證左し得る。

兎に角、就職難は姑〜措くとして、プロレタリアート、農民の子弟は、縱令學業が如何に卓越すると雖も無産階級である爲に中等又は高等の教育に預り得ないといふことは大なる社會政策上の缺陷として指摘すべきであらう。私は臆げ乍ら斯る社會的不滿が極く單純に色彩づけられてゐることを未だに忘れられない。

私が村の小學校を出た時慈愛の兩親は『學資さへ出せるならお前を希望通り上の學校へ進ませたいのだが、金が仇の世の中とはよく云つたものだ！』と、今更の如く貧窮を歎こち、私の前に、親の面目がない！といつた態度を採られたことがあつた。私は女だけに、兩親の溫かい思ひ遣りに感激し、思はず瞼が熱くなつて泣けたものである。

『女醫』それは、求めて止まぬ希望であるが、私の希望とそれに伴ふべき財力の兩立は許されない。最初かに近い境遇で育てられた關係から不可能と知りつゝ！、未練を繋ぐといふことは餘り金力に乏しい爲達し得られなかつた。

◇

『教育機關が卒業證書を賣る營利社會社である』といふ矛盾と行詰りから單なる空手形と化し去つた生きた事實として赤門は勿論、私大の學校以上に適切妥當だと出身のインテリゲンツィアの中で就職し得るものが全體に對する僅か二五%であることを以て證左し得る。

兎に角、就職難は姑〜措くとして、プロレタリアート、農民の子弟は、縱令學業が如何に卓越すると雖も無産階級である爲に中等又は高等の教育に預り得ないといふことは大なる社會政策上の缺陷として指摘すべきであらう。私は臆げ乍ら斯る社會的不滿が極く單純に色彩づけられてゐることを未だに忘れられない。

私が村の小學校を出た時慈愛の兩親は『學資さへ出せるならお前を希望通り上の學校へ進ませたいのだが、金が仇の世の中とはよく云つたものだ！』と、今更の如く貧窮を歎こち、私の前に、親の面目がない！といつた態度を採られたことがあつた。私は女だけに、兩親の溫かい思ひ遣りに感激し、思はず瞼が熱くなつて泣けたものである。

『女醫』それは、求めて止まぬ希望であるが、私の希望とそれに伴ふべき財力の兩立は許されない。最初かに近い境遇で育てられた關係から不可能と知りつゝ！、未練を繋ぐといふことは餘り金力に乏しい爲達し得られなかつた。

資本主義國家の教育機關は『卒業證書を賣る營利社會である』と私の夫は云ふが、私もこの皮肉は非常に適切であると思ふ。けれども今日では卒業證と云ふ一種の手形は資本家的生産のる營利社會社である』といふ矛盾と行詰りから單なる空手形と化し去つた生きた事實として赤門は勿論、私大の學校以上に適切妥當だと出身のインテリゲンツィアの中で就職し得るものが全體に對する僅か二五%であることを以て證左し得る。

兎に角、就職難は姑〜措くとして、プロレタリアート、農民の子弟は、縱令學業が如何に卓越すると雖も無産階級である爲に中等又は高等の教育に預り得ないといふことは大なる社會政策上の缺陷として指摘すべきであらう。私は臆げ乍ら斯る社會的不滿が極く單純に色彩づけられてゐることを未だに忘れられない。

私が村の小學校を出た時慈愛の兩親は『學資さへ出せるならお前を希望通り上の學校へ進ませたいのだが、金が仇の世の中とはよく云つたものだ！』と、今更の如く貧窮を歎こち、私の前に、親の面目がない！といつた態度を採られたことがあつた。私は女だけに、兩親の溫かい思ひ遣りに感激し、思はず瞼が熱くなつて泣けたものである。

『女醫』それは、求めて止

時代警語

○言輕ければ則ち憂を招ぐ……（揚雄）

應對談話の要訣は滿腔の精神を一事に集中して餘事に顧みない事である、更〜應對談話の神髄と云へば一片の至誠であると信ずる……

米澤村

（童謡詩）

島田忠夫

こんこんと湧く
大清水
村を流れて
雪ひびくころ
靈棚のおくに
灯をともす家
軒ばに咲いた
夕顔小さい
たで科山も
そろそろ暮れて
向ふに赤い
燒岳の峯
山から野から
もんぺを穿いた
山浦人が
だまつて降る。

小蟹

福島貞夫

一

濱は引き潮
小がにが稼ぐ
わしも小がによ
氣筌で稼ぐ
遠い潮鳴りや
直き上げる

二

日がな一日
小がにが稼ぐ
わしも小がによ
山程積んで
いさごのだん子
たれにやろう。

拈華微笑

◇

平町の借金、澤山も無いがザット三百萬だと。

◇

まさに凄涼萬斛を廣げ歩いたは

◇

退窟になると持ち出す財源研究

◇

結構な了簡だ

◇

豆腐殼で口腹を滿たす。誰だ、新田町中小間物

◇

唐黍の薬摺れ。朝夕早くも秋の聲あり

漫筆餘瀝

小野生

▽片倉製絲を瞥見△

蠶絲補償、農村匡救などと、世相は何處までも不況一天張りで進まんとする今日此頃、不景氣何かあらむと云つた様な調子で、片倉磐城製絲工場は、何の遠慮もなく黑煙濛々と天に冲して居る所から眺めても内容に相當餘裕のある事を想像される、それのみでなく斯界に於ける最も斬新奇拔な絲繰機によつて精練されるものだとの談を聞いて、一度見て置きたい氣にもなつた。

或日讀賣の坂本君、時事の野澤君、本社から來訪した沼田君などが落合つたので談がそこに落ちつき邪魔する事になつた、東道ともなつた。云ふべき役廻りは場長辰野氏の知り合ひたる坂本君に任せ從業の終へぬ間と云ふ際どい時間に車を飛ばした。

玄關先きに出向へて呉れた辰野場長、初面會の吾々に對する應接振りは正に堂々たるもの、腰の低き、辭令の垢抜けした點工場の長たるに不足はない。時間の都合だと云ふので直ちに案内されて、操繭場や、炎三十分に過ぎる暫見からこ蔟場や、此の工場の誇りとんな直感を描寫して見たのして居る、御法川式繰絲場である。

再繰場や、生絲整理室などを見て、更に講堂、寄宿舍浴室、醫務室などの案内を受けて、謂はば隈なく一目を透した。

此設備は製絲工場としては最も近代式に倣ひ整頓完備したものであるそうだが舊式工場のみ智識を持つ筆者には、一から十まで唯驚くの外はなかつた。進歩した繰絲方法だと云ふより言葉がない。

辰野氏の語る處によると該工場の夢の範圍と云ふ點から云ふと石城、双葉の兩郡に亘つて、三十有餘の組合と聯繫をとり、之れには自家特製の蠶種を提供し、養蠶教師を派して、然かも絲目の多い一貫した繭を造らしめるのが根本の目標として、更にこの式による組合の産繭は十貫匁建値十圓乃至十二三圓を時下相場より高く買入れするのが、特長である。

之の制度で進む爲めか普通一貫目の繭は生絲として生産されるのは百匁乃至百十匁に過ぎぬが、該工場の生絲は優に百三十匁を超ゆると云ふに至つて、如何に平生の努力が効果を大ならしむかを會得する事が出來る。

坂本君が片倉製絲工場中平工場の生絲が第一等の優格勤家があつてこそ、片倉浴室、醫務室などの案内を受けて、謂はば隈なく一目を透した。

此設備は製絲工場としては最も近代式に倣ひ整頓完備したものであるそうだが舊式工場のみ智識を持つ筆者には、一から十まで唯驚くの外はなかつた。進歩した繰絲方法だと云ふより言葉がない。

辰野氏の語る處によると該工場の夢の範圍と云ふ點から云ふと石城、双葉の兩郡に亘つて、三十有餘の組合と聯繫をとり、之れには自家特製の蠶種を提供し、養蠶教師を派して、然かも絲目の多い一貫した繭を造らしめるのが根本の目標として、更にこの式による組合の産繭は十貫匁建値十圓乃至十二三圓を時下相場より高く買入れするのが、特長である。

之の制度で進む爲めか普通一貫目の繭は生絲として生産されるのは百匁乃至百十匁に過ぎぬが、該工場の生絲は優に百三十匁を超ゆると云ふに至つて、如何に平生の努力が効果を大ならしむかを會得する事が出來る。

社會の今日

○

おしやべくり何をしやべるか人夫らの晝寢の夢へ話すよしきり

伴野四平

肌脱ぎや七人の子の萎えし乳

草城

8月12日

△室鳩巣歿す（享保一九）△米國最初の鐵道成る（一、八三〇）△離宮を芝濱に置く（明治八）

講談 お蘭陀お蝶

（105）

渡邊默禪作

布施長春畫

それは知つてゐる、一昨日の晩の様子が何となく穩かでなかつたのは、偖ては其の縁談のことからか、若しさまは何とおつしやつて、祖父さまに楯突かれたのであらう。底强い男の意地此分ならさまで心配する程でもないと、お柳は小氣味良くも、頼母しくも、また有ぬ、もの、側に粹を利かした、是だけの事を言ふにも精一杯であつた。

『なに不馴だ？』

出雲は眼を光らした

『大したことでもないぢやないか、行つて呉れ、行つて呉れ、恁ふ言ふことは不斷側に使はれてよく本人の氣質を知り拔いてゐる者でなければ、臨機應變の計ひは出來ぬものぢや、お前に限る、頼む、頼む』。

『ぇ、』

お柳は泣きたい様な氣が

『私、然う言ふことは……アノ不馴でございますか学院主催東北六縣北海道新潟の中等學校水泳大會に出場の爲廿日午前五時四十分發出仙するが選手次の如し阿部、新田目、遠藤、芳賀、中津、國井

植田不況対策協議

十日午後一時より小學校内に不況対策協議會を開催し町議、農會議員其他有志が會合種々協議する處あつた

平商業學校生徒は目下夏休中を利用して若松、飯坂、四倉、新舞子方面に於て移轉二十四組のテント生活を營んでゐるが期間は廿五日頃迄であると。

五日會講演

湯本五日會主催講演會は十六日午後七時から同町小學校に開催森泰應會田富次兩氏の講演がある

平商生活

天幕

平商生活

磐中水泳選手出仙

磐中水泳部は來る二十一、二の兩日催さるる仙臺東北學院主催東北六縣北海道新潟の中等學校水泳大會に出

選手決定

磐中水泳部の選手決定は次の如し

賢德院新盆に相當候も贈物等一切堅く御辭退申上候

平町二丁目

長瀬齊一

亡父龜太郎新盆に相當り候も神葬の爲め新盆相當はず候間乍勝手贈物等御辭退申上候

平町五丁目

佐々木榮一

故源五郎儀新盆に相當候處時節柄佛前供物提灯は一切御辭退可申上候に付不悪御了承被下度候

月見町

敬具

佐藤源吉

故高岡唯一郎
故伊藤芳吉
故山崎忠治
右新盆に相當り候處時節柄提灯其他供物等一切辭退致度候に付此段謹告候也

八月九日

山崎吉平
伊藤淺之助
高岡文夫

舊盆も差迫りました。例年通り佛壇、位牌、佛具類其他各種澤山取揃へ申し置きました。御入用の品は特別廉價にて販賣致します。是非御用命の程を御願致します。

平町二丁目

敬具

桝屋タンス店

鈴木民治

平庶民金庫東隣り

電話一三一番

提灯

御新佛御供養の

御法名入提灯の大奉仕

瓜形一對房付金一圓五十錢より

角形同金一圓九十錢より

其他岐阜提灯種々取揃へてあります

是非御下命は電話九五番

平四丁目

スガノヤ提灯店

潰金銀、古時計、鎖、古金、外國金貨

高價買入

今が賣り時期御一報次第出張御相談仕ります。

東京㊫商會出張所

平驛前通り

星野時計店方

（呼出）電話五九九

金融と債券賣買

株式公社債、勸業、復興債券賣買

生命保險金立替並に買入恩給年金立替

株式債券擔保はドンナボロ株でも三錢以下で金融致します。

磐越銀行預金高價買入致します。

長橋町四七

正木株式店

吉田眼科病院

平町紺屋町

平青年團選手詮衡

二十一日の郡体育大會を控へた平町青年團では參加少數の爲去る七日の豫選會を取とめた位で頗る意氣振はず体育振興上面白くないものあるので極力選手の出場を督勵中であるが十三日迄に出場選手を決定すると

時代警語

○言輕ければ則ち憂を招ぐ……（揚雄）

應對談話の要訣は滿腔の精神を一事に集中して餘事に顧みない事である、更〜應對談話の神髄と云へば一片の至誠であると信ずる……

米澤村

（童謡詩）

島田忠夫

こんこんと湧く
大清水
村を流れて
雪ひびくころ
靈棚のおくに
灯をともす家
軒ばに咲いた
夕顔小さい
たで科山も
そろそろ暮れて
向ふに赤い
燒岳の峯
山から野から
もんぺを穿いた
山浦人が
だまつて降る。

小蟹

福島貞夫

一

濱は引き潮
小がにが稼ぐ
わしも小がによ
氣筌で稼ぐ
遠い潮鳴りや
直き上げる

二

日がな一日
小がにが稼ぐ
わしも小がによ
山程積んで
いさごのだん子
たれにやろう。

漫筆餘瀝

小野生

▽片倉製絲を瞥見△

蠶絲補償、農村匡救などと、世相は何處までも不況一天張りで進まんとする今日此頃、不景氣何かあらむと云つた様な調子で、片倉磐城製絲工場は、何の遠慮もなく黑煙濛々と天に冲して居る所から眺めても内容に相當餘裕のある事を想像される、それのみでなく斯界に於ける最も斬新奇拔な絲繰機によつて精練されるものだとの談を聞いて、一度見て置きたい氣にもなつた。

或日讀賣の坂本君、時事の野澤君、本社から來訪した沼田君などが落合つたので談がそこに落ちつき邪魔する事になつた、東道ともなつた。云ふべき役廻りは場長辰野氏の知り合ひたる坂本君に任せ從業の終へぬ間と云ふ際どい時間に車を飛ばした。

玄關先きに出向へて呉れた辰野場長、初面會の吾々に對する應接振りは正に堂々たるもの、腰の低き、辭令の垢抜けした點工場の長たるに不足はない。時間の都合だと云ふので直ちに案内されて、操繭場や、炎三十分に過ぎる暫見からこ蔟場や、此の工場の誇りとんな直感を描寫して見たのして居る、御法川式繰絲場である。

再繰場や、生絲整理室などを見て、更に講堂、寄宿舍浴室、醫務室などの案内を受けて、謂はば隈なく一目を透した。

此設備は製絲工場としては最も近代式に倣ひ整頓完備したものであるそうだが舊式工場のみ智識を持つ筆者には、一から十まで唯驚くの外はなかつた。進歩した繰絲方法だと云ふより言葉がない。

辰野氏の語る處によると該工場の夢の範圍と云ふ點から云ふと石城、双葉の兩郡に亘つて、三十有餘の組合と聯繫をとり、之れには自家特製の蠶種を提供し、養蠶教師を派して、然かも絲目の多い一貫した繭を造らしめるのが根本の目標として、更にこの式による組合の産繭は十貫匁建値十圓乃至十二三圓を時下相場より高く買入れするのが、特長である。

之の制度で進む爲めか普通一貫目の繭は生絲として生産されるのは百匁乃至百十匁に過ぎぬが、該工場の生絲は優に百三十匁を超ゆると云ふに至つて、如何に平生の努力が効果を大ならしむかを會得する事が出來る。

拈華微笑

◇

平町の借金、澤山も無いがザット三百萬だと。

◇

まさに凄涼萬斛を廣げ歩いたは

◇

退窟になると持ち出す財源研究

◇

結構な了簡だ

◇

豆腐殼で口腹を滿たす。誰だ、新田町中小間物

◇

唐黍の薬摺れ。朝夕早くも秋の聲あり

漫筆餘瀝

小野生

▽片倉製絲を瞥見△

蠶絲補償、農村匡救などと、世相は何處までも不況一天張りで進まんとする今日此頃、不景氣何かあらむと云つた様な調子で、片倉磐城製絲工場は、何の遠慮もなく黑煙濛々と天に冲して居る所から眺めても内容に相當餘裕のある事を想像される、それのみでなく斯界に於ける最も斬新奇拔な絲繰機によつて精練されるものだとの談を聞いて、一度見て置きたい氣にもなつた。

或日讀賣の坂本君、時事の野澤君、本社から來訪した沼田君などが落合つたので談がそこに落ちつき邪魔する事になつた、東道ともなつた。云ふべき役廻りは場長辰野氏の知り合ひたる坂本君に任せ從業の終へぬ間と云ふ際どい時間に車を飛ばした。

玄關先きに出向へて呉れた辰野場長、初面會の吾々に對する應接振りは正に堂々たるもの、腰の低き、辭令の垢抜けした點工場の長たるに不足はない。時間の都合だと云ふので直ちに案内されて、操繭場や、炎三十分に過ぎる暫見からこ蔟場や、此の工場の誇りとんな直感を描寫して見たのして居る、御法川式繰絲場である。

再繰場や、生絲整理室などを見て、更に講堂、寄宿舍浴室、醫務室などの案内を受けて、謂はば隈なく一目を透した。

此設備は製絲工場としては最も近代式に倣ひ整頓完備したものであるそうだが舊式工場のみ智識を持つ筆者には、一から十まで唯驚くの外はなかつた。進歩した繰絲方法だと云ふより言葉がない。

辰野氏の語る處によると該工場の夢の範圍と云ふ點から云ふと石城、双葉の兩郡に亘つて、三十有餘の組合と聯繫をとり、之れには自家特製の蠶種を提供し、養蠶教師を派して、然かも絲目の多い一貫した繭を造らしめるのが根本の目標として、更にこの式による組合の産繭は十貫匁建値十圓乃至十二三圓を時下相場より高く買入れするのが、特長である。

之の制度で進む爲めか普通一貫目の繭は生絲として生産されるのは百匁乃至百十匁に過ぎぬが、該工場の生絲は優に百三十匁を超ゆると云ふに至つて、如何に平生の努力が効果を大ならしむかを會得する事が出來る。

時代警語

○言輕ければ則ち憂を招ぐ……（揚雄）

應對談話の要訣は滿腔の精神を一事に集中して餘事に顧みない事である、更〜應對談話の神髄と云へば一片の至誠であると信ずる……

米澤村

（童謡詩）

島田忠夫

こんこんと湧く
大清水
村を流れて
雪ひびくころ
靈棚のおくに
灯をともす家
軒ばに咲いた
夕顔小さい
たで科山も
そろそろ暮れて
向ふに赤い
燒岳の峯
山から野から
もんぺを穿いた
山浦人が
だまつて降る。

小蟹

福島貞夫

一

濱は引き潮
小がにが稼ぐ
わしも小がによ
氣筌で稼ぐ
遠い潮鳴りや
直き上げる

二

日がな一日
小がにが稼ぐ
わしも小がによ
山程積んで
いさごのだん子
たれにやろう。

大平町の借金三百萬圓

一戸割當て額約六百十九圓

▽—去月末現在調査—△

縣の指令に依り調査した平町の負債額は去月末現在で

種別	金額
銀行會社	一、八二一、四二六圓
信用組合	二七〇、九六五
低利資金	一五〇、〇〇〇
金融業者	六六、五三〇
其他	一四〇、〇〇〇
合計	二百九十七萬七千九百二十一圓

に達し一戸平均六百十九圓に當つてゐる

錦村で政府米分配

俵六圓九十四錢

錦村では貧民救濟の意味で此程政府米五百八十四俵（四斗入）を購入し八日同村農業倉庫に於て希望者二百四人に分配したが一俵六圓九十四錢であると

「還つて朗かに語る」

好漢 伊藤儀七氏

腰に丸

練達堪能の士……と

後任小田部署長を禮讃

平警察署長伊藤儀七氏は今次の大異動により再び以前の丸腰に還り明十二日官舍を引き上げて新川端の舊居に移り、一切の羈束から脱して悠々自適の生活に入る事になつたが今朝往訪の記者に對して次の如く語る

——在任八ケ月。極めて短期間ではあつたが、其間總選擧其他大小幾多の問題に直面し乍ら鈍尚ほ大過無きを得たのは偏に公私内外共各方面から寄せられた聲援同情の賜に外ならないと深く感謝の意を表するものである。竿頭一歩を進めて大に民衆の爲働いて見度いと想つた事柄も無いではないが官命また如何ともなし難い、後任の小田部君は自分よりは約半年位の後輩であるが縣下警察界の最古參で、八面玲瓏而して事務に練達堪能の士であるから平署長として盤根錯節に堪ゆる利器なる事勿論である、同君の將來に多くの期待を繋ぐと共に斯の如き好筒の署長を迎へ得た管内住民の幸福を喜んで居る。云々

小田部署長〻喜多方署長十七日著任〻から平署に榮轉の小田部秀雄氏は十七日午後三時五十分平驛着で着任する

上遠野に觀測所

今月末竣功と同時に

中央氣象台へ日報

上遠野村では福島測候所からの交渉に基き小學校庭に氣象觀測所を建設し

一、氣象、寒暖、乾濕
二、天候　三、風向、風速

の觀測に從事する事になり既に着工來月下旬頃竣功の見込みであるが右擔當者は曩に永年福島測候所に勤務業の者に對し一日二錢の割合を以て算出したる額で延しこの方面に造詣淺からざる同村小學校訓導吉田太郎氏で前記各項に就き毎日午前十時中央氣象臺に報告する筈であると

平上水道竣功手當支給

けふ從業者へ

平町役場では上水道擴張工事從業員百六十名に對する竣功手當五百九十三圓を交附したが右は五十日以上就業の者に對し一日二錢の割合を以て算出したる額で延人員二萬九千六百五十人分である

湯本土木陳情

湯本市役場土木事業査定委員會は昨十日午後六時から議事堂で開催失業者救濟土木事業に就て十五日石川町長以下代表出縣陳情する事を決議した

磐越拂戻し

けふから三日間

磐越銀行の第一回預金配當は今十一日午前九時から同行本店で開始した配當率は六分一厘總額一萬四千餘圓で同日中約一萬圓の拂戻しをなした尚明十二、三兩日も引續き拂戻す筈である

陰慘な世相の斷面

事業に敗れて夫（絶命）婦（未遂）心中

昨内郷墓地の悲劇

千葉市西院内二九九居住湯本町笠井四生れ元木炭商佐藤今朝治（三九）妻イヨ（四三）の兩名は昨十日午前六時頃内郷村綴板宮地内共同墓地で夫婦心中を企て、男は現場で絶死し女は死に遲れて通行人に發見され未遂に終つた急報に依り平署橋谷田部長檢視の上取調べの結果男は事業に失敗して先妻との間に出來た長女フク（九）を連れ昨年四月千葉市に轉住し當時驛前渡邊旅館の女中であつたイヨと結婚したが間もなく男は不治の病に冒され收入の道が絶えた爲前途を悲觀し一家心中を決意し一家の貴家同村綴齊藤濱次郎方へ預け九日午後七時頃カルモチン四十五錠宛を嚥下し翌日歸郷したが頑是ない子を自殺を企てたが死に切れず遂に絶死を計つたもので附近の住人に發見され本署に收容中に七通の遺書があつたが誤り死ねなかつたものであると

絶食何日目かに有りついた豆腐

湯本傾城の哀れな母子四名

失業者其他極貧者の窮迫は昨今の窮盛前に於て一層深刻なるものがあり血の滲むやうな幾多の悲劇は人知れず在所に行はれ出した儘音信が梨子の礫となつつあるが、これも其の一人の幼兒を抱えて無けなし方面の代表的一哀話。

失業者共他極貧者の窮迫は昨今の窮盛前に於て一層深刻なるものがあり血の滲むやうな幾多の悲劇を秘す）は之れ迄の商賣が立ち行かなくなつた爲最近職を捜して來るど稱して家は人知れず在所に行はれ出した儘音信が梨子の礫となつた爲殘された妻女は三人の幼兒を抱えて無けなし方面の代表的一哀話。

列車妨害犯人？

植田署檢擧の有力な被疑者

平檢事局の調べ進む

去月二十七日草野、四倉間の同二十九日には勿來、植田間鐵道線路に枕木を並べ列車妨害を企てた犯人に就ては其筋で嚴重捜査中であつたが昨十日植田署に有力なる犯人の檢擧を見たので平檢事局から上田檢事出張目下調査中で更に一段の確證を見出したものの如く今十一日市川檢事との間に種々打合せが行はれた模樣であつて十三名であると

愛人と添はれず

可惜四五の世に背く

昨日小名濱青年の仰毒自殺

小名濱町横町料理店亀家事情から深く言ひ交はした同町カフエー大マトイ事中澤丹野寛平二男丹野正二（二〇）は昨十日午後二時頃家人のスキを窺ひ自宅奥座敷で青酸カリを嚥下し自殺を悲觀した結果加里を多量に嚥下して自殺を遂げた、原因は家庭の事情を深く言ひ交はした同町カフエー大マトイ事中澤丹野寛平二男丹野正二（二〇）は昨十日午後二時頃家人のスキを窺ひ自宅奥座敷で青酸カリを嚥下し